

いよいよ完全に表示切換え！ 医療用医薬品への 『JAN / ITF バーコード表示の終了』

自動変換
して出力

抗菌仕様ロングレンジ
CCDバーコードスキャナ
SX1500H



既存システムを変更
することなく読み取
ったGS1-Databarを
JANコードデータに
自動変換してシステムに送信します。
Microban®抗菌技術で半永久的な抗菌
効力を持続。医療現場に最適です！

以前より何度かご案内して参りましたが、医療用医薬品への新バーコードの表示統一の完全施行が、とうとう来月へと迫って参りました。病院内の薬剤部様や調達部様、医薬品卸業様、調剤薬局様などの関係者様におかれましては、システムへのご対応準備は、既にお済みでしょうか？

今月号では、新バーコード表示のおさらいと、既存のシステムを改造しなくても、低コストで簡単に、新バーコード表示統一に対応できるスキャナについてご紹介いたします。

新バーコード表示の沿革

米国の医療業界では、医療過誤の多さが問題となっており、医療過誤の一番の原因が「処方・投薬」に関する業務で発生していました。そこで「処方・投薬」にて如何にミスをなくすかの検討を重ね、国際標準化機構である GS1 機関との連携を図り、結果として新バーコード表示によるガイドラインが策定され、世界各国の政府機関の基本構想に於いても、足並みを揃えていく事になりました。

国内では、厚生労働省から 2006 年 9 月に「医療用医薬品への新バーコード表示の実施について」の指針が関連企業・工業会に通達され、2012 年 6 月には新バーコード表示の適用範囲が“内用薬・外用薬”に拡大され、本格的に新バーコード表示が医薬品業界で採用され始めていきました。同時に、販売包装単位や元梱包装単位で利用されてきた商品 JAN コード / ITF コードについても、2015 年 7 月以降に出荷される医薬品には、「新バーコード表示に統一

する」ことが求められており、3 年間の移行期間を経て、いよいよ来月、2015 年 7 月より完全実施されることとなります。

新バーコード表示進捗状況の最新調査

平成 27 年 4 月の厚生労働省医政局経済課資料によりますと、次の通りです。

調剤単位：必須項目となっている特定生物由来品、生物由来品、注射薬に関しては、ほぼ移行は完了しており、内用薬 / 外用薬はそれぞれ 61% / 47% に留まっています。

販売包装単位：特生、生、注射薬、内・外用薬の全種類において、ほぼ移行は完了しており、進捗状況が一番良いとされています。

元梱包装単位：注射薬、内・外用薬が 50% 以下の進捗状況となっており、来月から完全実施に向けて急ピッチで新バーコードへの表示が進捗すると考えられます。

新バーコード対応スキャナの導入状況

前述の厚生労働省医政局経済課資料では、卸売販売業者への新バーコードの利用状況と対応スキャナの導入状況調査で、販売包装単位で 92%、元梱包装単位で 69% の利用状況となっており、今後の利用検討は 100% の回答となっています。

対応スキャナの導入状況は、保有総台数 8,100 台に対して 90% が対応スキャナで既に利用されており、新バーコードが運用される市場環境は整ってきていると判断できます。

これらの最新統計情報からも、新バーコードの表示については、計画通りに進んでいる事が分かります。しかし、実際の表示は、従来の JAN コードや ITF コードが新バーコードと併記されている状態で、市場においても、新バーコードは表示はされていますが、従来の JAN や ITF で運用されている現場は、未だに多く残っています。このような現場では 7 月から突然、商品コードの読み取り時に、システムでエラーとなってしまう、通常業務に支障が出ることが予想されます。



新バーコード表示統一で 何が変わるか？

では、JAN コードと新バーコード表示で何が変わるのでしょうか・・・？

従来利用してきた JAN コードは 13 桁の商品コードで、システム内の医薬品マスタでも 13 桁で登録されており、検品や調剤監査でも、同一規格のバーコードを利用することが可能でした。

新バーコードは、GS1 Databar と言うバーコードを採用しており、商品コードが 14 桁で表現されています。

従って、7 月から従来のバーコードを読み取ると 14 桁の商品コードでシステム内の医薬品マスタを検索する事になるので“一致する医薬品が見つからない。”と言うエラーが発生します。

さらに、単純な桁数の長さの問題だけではなく、販売包装単位や元梱包装単位の場合は、データの最後の桁がチェックデジットであり、13 桁と 14 桁ではチェックデジットの値も変わってしまい、データの値自体が違ってしまいうのです。

このようなエラーを回避するため、多額のコスト負担を覚悟して、外部の開発会社に既存のシステムを新バーコード表示に対応出来る様にシステム改造の依頼をしなければならず、さらに変更する仕様を説明していかなければならないなど、改造するための開発期間と、迫る期限との焦りで大

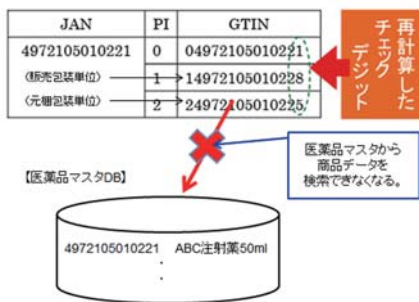


きな不安を感じてはいないでしょうか・・・？

システム改造が不要な 安価なバーコードスキャナ

当社では、2015 年 7 月からの新バーコード表示統一によるトラブルやコスト負担を想定して、昨年秋より、「14 桁の GS1 Databar」を「13 桁の JAN コード」に自動で変換し、既存システムの改造を一切しないで対応できるバーコードスキャナ SX1500H をリリースしています。

このスキャナを採用すれば、前述のご不安やご心配を抱え込むこともなく、7 月からの新バーコード表示への完全統一が始まって、購入したその日に



スキャナを差し替えるだけで、即対応が完了します。しかも、抗菌仕様となっていますので医薬・医療現場には最適な仕様となっています。

終りに

今号では、販売包装単位の新バーコード“GS1 Databar”への移行を解説いたしましたが、元梱包装単位の新バーコード“GS1-128”の場合は、商品コードと共に、“有効期限”や“製造番号”、“数量”を一緒に表示している商品が増えていますので、対応するには販売包装単位の切換えより、多少複雑になります。

医療用医薬品における新バーコード表示に関する対処方法や詳しい内容、行政・市場動向、トラブル事例などご興味ございましたら、当社営業担当より直にお話をさせていただきます。

また、本製品に関するお問い合わせについても、営業担当までお気軽にお尋ねください。お客様のご満足のいく、解決策をご提供させていただきます。

国際モダンホスピタルショウ出展のお知らせ

国際モダンホスピタルショウ2015
INTERNATIONAL MODERN HOSPITAL SHOW2015
2015年 7月15(水)・16(木)・17(金) 10:00~17:00

当社は、2015年7月15日(水)~17日(金)までの3日間で東京ビッグサイトにて開催されます『国際モダンホスピタルショウ 2015』に出展いたします。国際モダンホスピタルショウは、今回で42回目を迎える保健・医療・福祉に関する国内最大規模の総合展示会です。病院をはじめ、保健・医療・福祉分野における質の向上、充実に役立つ機器、製品、システム、サービスなどが幅広く展示されます。是非、当社のブースで「現場の課題」のソリューションを見つけてください。

無料のご招待券は、当社営業担当へお申し付けください。

次号予告

2015年7月号は・・・

『ますます重要視される個人認証！
卓上型NFCリーダの活用事例をご紹介します』
をお届けします。

Flags 7月号は 7月 8日発行です。

都合により内容が変更になる場合がありますので、予めご了承下さい。
バックナンバーは弊社ホームページに掲載しております。

Flags / フラッグス

2015年6月号 Vol.121 2015年6月8日発行

編集・発行 株式会社マーストーンソリューション

編集事務局:03(3352)8545

本誌に掲載の記事・写真・図版などは著作権法によって保護されており、無断で転用・転載・複製することはできません。

本 社	東京都新宿区新宿1-8-5	新宿御苑室町ビル
日立営業所	Tel: 03 (3352) 8522	Fax: 03 (3352) 8579
名古屋営業所	Tel: 029 (276) 9555	Fax: 029 (276) 9556
大阪営業所	Tel: 052 (565) 9091	Fax: 052 (565) 9094
福岡営業所	Tel: 06 (6353) 5476	Fax: 06 (6353) 6125
	Tel: 092 (441) 3638	Fax: 092 (441) 3639

MTS 株式会社マーストーンソリューション
http://www.mars-tohken.co.jp